

◎寺島実郎責任監修リレー講座 開講にあたって



私たちは今、地球規模の多様な課題と対峙しています。そのブレークスルーの芽は、一極集中の東京ではなく、多様性のある地方にこそ存在するのではないのでしょうか。

私は、地域に在る長崎大学という空間を、みなさんとともに知を共有し、ともに考え、新たな知を創造し、それを地域にそして世界に発信する“知の拠点”として再構築したいと思っています。

その最初の試みが、現代日本の知のリーダー、寺島実郎さんとともに進めるこのリレー講座です。

最高の監修者と長崎新聞社のご支援のもと、すばらしい企画が出来上がりました。

日本を先導する講師陣とともに“全体知”を共有し、

長崎から新しい価値観を世界に発信する礎にしたいものです。

世界のこと、日本のこと、そして長崎のことを、ともに考えてみませんか。

長崎大学長 片峰 茂



このたび、寺島実郎氏の責任監修のもと、長崎大学との共催によるリレー講座が実現しました。

一流講師陣を招いての大変貴重な講座とあって、市民の方々からも熱い期待が寄せられております。

私ども長崎新聞社は、開かれたキャンパスを目指す長崎大学の意欲的な姿勢に対し、心から敬意を表します。

地元紙としても、こうした取り組みを積極的にサポートし、今後一層、地域貢献への協力を深めていければと考えております。

この長崎の地で、各界の第一人者の声を生で聴き、現代社会の実像に迫ることができるまたとない機会です。

是非多くの方々にご聴講いただき、感動を共有していただければ幸いです。

この講座が、実り多い時間となることを願ってやみません。

長崎新聞社 代表取締役社長 本村 忠廣



■開催場所：長崎大学中部講堂（長崎市文教町1-14）

【アクセス】

●JR長崎駅から

路面電車（赤迫行き）→「長崎大学前」下車 徒歩1分
長崎バス（1番系統「満川」、「上床」、「上横尾」行き）→「長崎大学前」下車 徒歩1分

■受講定員／600名

■受講料

各回1,000円で、受講料は当日、受付にてお支払いください。
全6回の通し券（5,000円）は、第1回開催時のみ会場で販売いたします。
*全6回の通し券について、ご購入後は返金できませんので、あらかじめご了承ください。
*駐車場はありませんので公共交通機関をご利用ください。

■お申込み・お問い合わせ

事前にWebまたは電話でお申し込みください。

長崎大学広報戦略本部

〒852-8521 長崎市文教町1-14
TEL095-819-2868（長崎大学広報戦略本部）
*受付時間：平日 10:00～17:00
長崎大学公式ホームページ
<http://www.nagasaki-u.ac.jp/>

長崎大学
NAGASAKI UNIVERSITY

寺島実郎責任監修リレー講座

世界の構造転換と 日本の進路

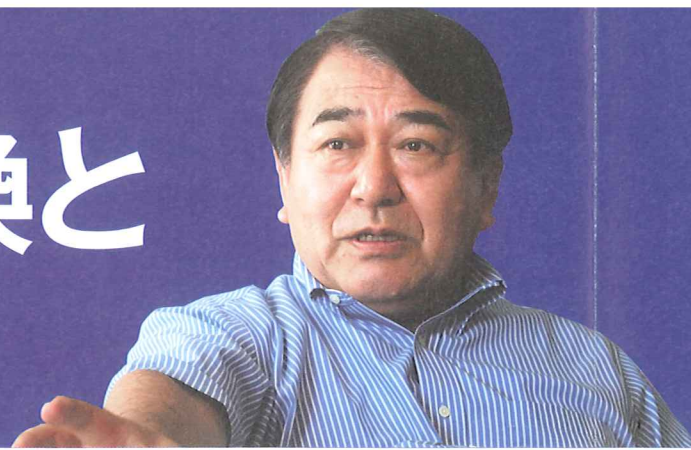
主催：長崎大学 共催：長崎新聞社



長崎大学
NAGASAKI UNIVERSITY

寺島実郎責任監修リレー講座

世界の構造転換と日本の進路



「外は広く、内は深い。」鈴木大拙の言葉である。私は混迷する時代にこそ、物事の本質を深く考え抜き、時代を展望する視座が不可欠であると思う。

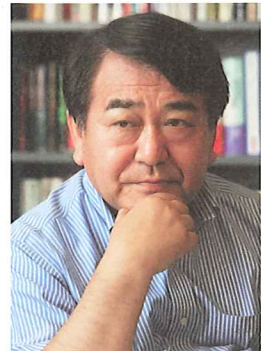
断片的な知識を超えて、全体知の中で、今我々が生きている時代を考えるヒントを提供するために、私自身の責任監修という形で長崎大学リレー講座を企画してみた。

長崎大学の問題意識に応える形で選んだ、時代に発信している講師陣一人ひとりに交差し、参画してもらった。

長崎大学の関係者はもとより、多くの市民の方々にとっても意味のある講座にしたいと思う。

「知は力である」ことを実感していただくことを目指したい。

第 1 回 2010年9月30日 (木)



2010年、世界の構造転換と日本の立ち位置

15:30～17:00

講師 **寺島 実郎** (財)日本総合研究所理事長
三井物産戦略研究所会長 多摩大学学長

世界は今どこに向かって変化しているのか。日本の立ち位置はどうなっているのか。時代認識の基軸とすべきことに踏み込みたい。

寺島 実郎 PROFILE

1947年北海道生まれ。早稲田大学大学院政治学研究科修士課程修了後、三井物産入社。ワシントン事務所長などを経て、99年三井物産戦略研究所所長、2009年から同会長。また、01年より日本総合研究所理事長、06年同会長、10年同理事長。09年より多摩大学学長。現在、文科省・中教審委員のほか、総務省グローバル時代におけるICT政策に関するタスクフォース国際競争力強化検討部会座長などを兼任。94年石橋湛山賞。近著に『世界を知る力』(PHP新書)、『時代との対話』(ぎょうせい)ほか。

第 2 回 2010年10月14日 (木)



(第1部) 上海万博後の中国経済の行方

14:30～15:45

講師 **沈 才彬** 多摩大学経営情報学部教授

なぜ中国経済は外部危機に強いのか？ 中国の高度成長はいつまで続くか？ 上海万博後の中国経済は成長が持続するかそれとも挫折するか？ 日本企業にどんな戦略転換が必要なのか？ なぜ「親米陸中」を日本の外交戦略の基軸にすべきなのか？

沈 才彬 PROFILE

1944年中国江蘇省海門市に生まれる。中国社会科学院大学院修了。同大学院準教授、東京大学、早稲田大学、お茶の水女子大学、一橋大学などの客員研究員を歴任。三井物産戦略研究所主任研究員、同中国経済センター長を経て、08年より現職。著書に『検証中国爆食経済』(時事通信社)、『「今の中国」がわかる本』(三笠書房)、『中国沈没』(三笠書房)、『中国経済の真実』(アートデイズ)、『中国黒洞(ブラックホール)が世界をのみこむ』(時事通信社、2010年4月発行)ほか。

(第2部) いまなぜ「アジア太平洋 (Asia Pacific)」か

15:45～17:00

立命館アジア太平洋大学の創設をとおして考えたこと

講師 **坂本 和一** 立命館大学名誉教授
立命館アジア太平洋大学初代学長

いま、時代は「アジア太平洋時代」といわれる。「アジア太平洋時代」とはどのような時代か。この時代を日本の若者はどのように生きなければならないのか。講演者が実際に実践した、わが国初の本格的国際大学といわれる立命館アジア太平洋大学の創設をとおして、このことを考える。

坂本 和一 PROFILE

1939年石川県生まれ。68年京都大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学後、立命館大学経済学部に。78年より教授。94～04年立命館副総長。その間、立命館アジア太平洋大学の開設に関わり、2000～03年初代学長。現在、アジア太平洋研究所推進協議会理事。近著に『アジア太平洋時代の創造』(法律文化社)、『大学のイノベーション』(東信堂)、『ドクター再発見』(法律文化社)など。

第 3 回 2010年10月21日 (木)



対テロ戦とアフガニスタンの安定化、日本はどう向き合うべきか？

15:30～17:00

講師 **伊勢崎賢治** 東京外国語大学大学院総合国際学研究院教授

ベトナム化しているアフガン戦争を、一番止めたいと思っているのは、日本の平和主義者ではなく、オバマ政権自身でしょう。最大同盟国の一つとして、日本は、アメリカの出口戦略にどう“主体的”に貢献するか。一緒に考えましょう。

伊勢崎賢治 PROFILE

1957年東京生まれ。内戦初期のシエラレオネを皮切りにアフリカ三カ国で10年間、開発援助に従事し、その後、東チモールで国連PKO暫定行政府の県知事を務め、再びシエラレオネへ。同じく国連PKOの幹部として武装解除を担当し内戦の終結に貢献する。その後、アフガニスタンにおける武装解除を担当する日本政府特別代表を務める。

第 4 回 2010年11月15日 (月)



生命から見直す現代社会

日本文化を活かす

15:30～17:00

講師 **中村 桂子** JT生命誌研究館 館長

市場原理主義と科学技術による利便性の追求を基本にした現代社会は、生きものである人間が生きにくいものになっている。そこでまず、生きものとはなにかを問い、それを基本に食・健康・教育・環境など生活の基本を見直すと、そこには日本文化が浮かび上がる。

中村 桂子 PROFILE

1936年東京生まれ。64年東京大学大学院生物化学博士課程修了、理学博士。同年、国立予防衛生研究所入所後、三菱化成(現・三菱化学)生命科学研究所部長、早稲田大学人間科学部教授、大阪大学連携大学院教授などを歴任。93年JT生命誌研究館副館長、02年同館長就任。著書に『生命誌の世界』(日本放送出版協会、2000年)、『ゲノムが語る生命』(集英社新書、2004年)、『自己創出する生命』(ちくま学芸文庫、2006年)、『子ども力』を信じて、伸ばす』(三笠書房、2009年)、『生きものの上陸大作戦―絶滅と進化の5億年』(PHPサイエンス・ワールド新書、2010年)ほか。

第 5 回 2010年12月2日 (木)



(第1部) 日本ICT産業への苦言

14:30～15:45

講師 **村上 憲郎** グーグル株式会社 名誉会長

40年間ICT産業に奉職してきた者の経験から、特に最近の事例を中心に、日本ICT産業の現状に対して、あえて、苦言を呈す。

村上 憲郎 PROFILE

1947年大分県生まれ。京都大学工学部卒業。日立電子株式会社、DEC Japan、DEC米国本社勤務を経て、DEC Japan取締役。その後、Infomix 米国副社長兼日本法人社長、Northern Telecom JapanおよびNortel Networks Japanの社長兼最高経営責任者、等を歴任。03年Google Inc. 副社長兼 Google Japan 代表取締役社長として日本における Google 全業務の責任者を務める。09年1月名誉会長に就任。著書に『知識ベースシステム入門』(インフォメーションサイエンス社、1986年)、『村上式シンプル英語勉強法』(ダイヤモンド社、2008年)、『村上式シンプル仕事術』(ダイヤモンド社、2009年)。

(第2部) 東洋と西洋の逆転

再び人口規模がものをいう時代に

15:45～17:00

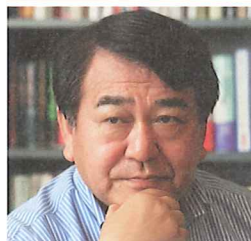
講師 **財部 誠一** 経済ジャーナリスト

リーマンショックを境に東西の優劣逆転へと世界は舵を切りました。今年、世界の実質成長率は4.7%と予想されていますが、成長の約7割は中国をはじめとする新興国が牽引しています。東アジアへと大きく目を見開いてください。目の前にチャンスが広がっています。

財部 誠一 PROFILE

1956年東京生まれ。慶應義塾大学法学部卒業後、野村證券に入社。同社退社後、3年間の出版社勤務を経てフリーランスジャーナリストに。金融、経済誌に多く寄稿し、気鋭のジャーナリストとして期待される。テレビ朝日系「報道ステーション」、BS日テレ「財部ビジネス研究所」などTVやラジオでも広く活躍中。また、政策シンクタンク「ハーバード・ジャパン」を主宰し、「財政均衡法」などの各種の政策提言を行っている。公式サイトにて「経営者の輪」、「借金時計」などを展開中。近著に「中国ゴールドラッシュを狙え」(新潮社、2010年)ほか。

第 6 回 2010年12月16日 (木)



(第1部) 日本創生への視座

14:30～15:30

講師 **寺島 実郎** (財)日本総合研究所理事長
三井物産戦略研究所会長 多摩大学学長

日本の閉塞感を突き破る構想とはなにか。経済と産業、そして国際関係の創造的未來ビジョンは何か。

(第2部) フォーラム 新しいアジア太平洋時代における長崎の「知」とは

15:30～17:00